

中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

2006年2月20日号

目次

◎2月第2週、トウモロコシ取引額は697億元に

【経済日報 2006年02月13日】

◎温総理がミャンマー首相と会談、両国関係発展のための提案行う

【経済日報 2006年02月15日】

◎山西省晋中市、タクシー110台をエタノール混合燃料車に改造

【中国汽車報 2006年02月15日】

◎農業大省の山東省、農産物輸出額は69億ドル、対日が26億ドルで最多

【経済日報 2006年02月15日】

◎エタノール混合燃料の天冠集団、昨年の売上が110%増の17.3億元記録

【中国化工報 2006年02月20日】

◎2月第2週、トウモロコシ取引額は697億元に

【経済日報 2006年02月13日】

遼寧省の大連商品取引所は、2006年2月8日のトウモロコシ取引件数は過去最高の100万件を突破、取引価格は1,465元(1トン、以下同じ。2005年11月28日の1273元より大幅増)に達したことを明らかにした。

2月第2週(2～10日)、同取引所のトウモロコシ取引特徴として、

1. トウモロコシの取引価格は、最高1,538元、最低1,448元、いずれも高い水準を維持している。
2. トウモロコシの取引件数は、472万7,898件、取引額は697億元に達したという2点が挙げられている。

業界関係者によると、トウモロコシの在庫量不足、トウモロコシを原料とするアルコール燃料の

生産開始が値上がりの要因となっている。

◎温総理がミャンマー首相と会談、両国関係発展のための提案行う

【経済日報 2006年02月15日】

温家宝総理は、14日、北京の人民大会堂にてミャンマーのソー・ウイン(梭温)首相と会談、今後も両国の善隣友好関係発展のために努力していくとの認識で一致した。温総理は、「両国経済は相互補完性があり将来的協力の可能性は大きい」と評価し、両国経済・貿易分野での協力促進のため以下の提案を行った。

1. 中国の対ミャンマー優遇関税策を活用し、二国間貿易規模を拡大する。
2. エネルギー・資源開発、インフラ建設などの成果をあげるため重点協力事業を確定、実施する。
3. ASEAN+1(中国)、ASEAN+3(中日韓)、大メコン川流域など協力枠組みの下に地域的経済協力を強化する。
4. 両国企業の直接的接触を奨励、人材育成、技術交流を強化する。

また、両国国境での薬物問題について厳格な措置を採って取り締まると共に、二国間・多国間の薬物取締り協力を強化、これに関する協定にも早期に調印したいとの考えを示した。

一方、ソー・ウイン首相は、中国側提案に賛意を示し、国境貿易、科学技術、インフラ、エネルギー・資源開発などでの中国との交流・協力拡大、中国企業の対ミャンマー投資を歓迎し、薬物取り締まりでも中国側と協力していきたいとの考えを示した。

◎山西省晋中市、タクシー110台をエタノール混合燃料車に改造

【中国汽車報 2006年02月15日】

山西省晋中市は、同市のタクシー会社2社の車両110台に対するエタノール混合燃料車への改造を認可、現在までに55台の改造が完了していることを明らかにした。タクシーをエタノール混合燃料車へと改造するのは同省が初めてである。

エネルギー大省である山西省は、2005年7月に全省でエタノール混合燃料車を普及させていく方針を決定し、まず、タクシーから改造していくことを決めていた。山西佳新能源化工実業有限公司が実際の改造を担当しており、今後も省都の太原市、長治市などのタクシーの改造を行っていく。改造後も車両の運動性能に影響はない上、排ガス量は5～7割削減、1日あたりの運行コストも30元削減することができる。晋中市政府も自発的に改造を行うタクシーについては1台あたり3,000元の補助し、1年間の道路維持税免除の優遇措置を採っている。1台あたりの改造費用は1,800元となっている。

◎農業大省の山東省、農産物輸出額は69億ドル、対日が26億ドルで最多

【経済日報 2006年02月15日】

農業大省である山東省のチンタオ市税関は、2005年の同省農産物輸出額は69億1,000万

ドル(23.7%増。前年比、以下同じ)、輸入額50億3,000万ドル(14.1%増)、計119億4,000万ドル(19.4%増)に達したと発表した。農産物貿易額が100億ドルの大台を突破したのは初めてである。

日本向け輸出額は、26億5,000万ドル(20.6%増)と各国・地区中で最多、EU向けは10億ドル(24.7%増)、韓国向けは7億9000万ドル(21.8%増)、米国向けは6億6,000万ドル(23.8%増)となった。一般貿易による輸出額は、43億5,000万ドル(20.8%増)、加工貿易によるものは25億5,000万ドル(29.2%増)であった。

◎エタノール混合燃料の天冠集団、昨年の売上が110%増の17.3億元記録

【中国化工報 2006年02月20日】

自動車用エタノール混合燃料の生産・供給を行っている河南天冠集団は、2005年の売上は17億3,000万元(2004年より110%増)、納税額は7,767万元(同1,205万元増)に達したことを明らかにした。同集団は、2005年、河南省、湖北省、河北省の3省向けに自動車用エタノール混合燃料を供給しており、各種製品の販売量は増加している。2005年現在、天冠集団の総資産は23億6,000万元(2000年より14億8,000万元増)、各製品の生産量は94万トン(同76万トン増)、売上は17億3,000万元(同9万5,000元増)に達した。

同集団は、2006年も河南省、湖北省、河北省へのエタノール混合燃料供給を行い、2006年の売上30億元達成を目指していく。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。